

平成20年度 教育委員会 改革マニフェスト 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェストNo.	項目名 (担当部署)	集中改革プラン 項目No.	取り組み内容	区分	成果指標			活動指標①			活動指標②			自己評価
					H18	H19	H20	H18	H19	H20	H18	H19	H20	
1	学区再編と学校統合の推進の改革 (学校教育課)	26-1	平成18年9月策定の「佐渡市保育園・小学校・中学校統合計画」に基づき、前期統合計画対象校を中心に複式学級の解消を最大の目標として統合を進めるため地域及び学区の保護者と精力的に話し合いを進めます。	指標名	統合後の学校数			学校統合に向けた説明会等の開催			-			B
				指標の算式等	-			-			-			
				目標(A)	49校 1分校	47校 1分校	46校	-	-	40回	-	-	-	
				実績(B)	49校 1分校	48校 1分校	45校	37回	40回	80回	-	-	-	
				(A)と(B)の比較	0校 0分校	1校 0分校	▲1校	-	-	40回	-	-	-	
2	給食業務の改革 (学校教育課)	26-3	学校給食については、佐渡産の食材を中心にして地産地消を積極的に推進し、食育の充実を努めます。地産率目標値は新潟県食育推進計画に則って進めます。	指標名	学校給食における佐渡産の地産地消率			市場への学校給食発注食材の情報提供施設数			-			C
				指標の算式等	佐渡産食材使用重量/給食における使用食材重量×100(%)			-			-			
				目標(A)	-	-	-	-	5 施設	4 施設	-	-	-	
				実績(B)	-	-	61.2%	-	4 施設	4 施設	-	-	-	
				(A)と(B)の比較	-	-	-	-	▲1 施設	0 施設	-	-	-	
3	施設間の連携強化と整理合理化の検討 (生涯学習課)	27-3	社会体育施設の借地について、施設の利用状況を調査し、遊休・低利用施設の廃止や有効活用及び類似施設の整理合理化を進め、地権者に返還し借地料を少なくします。	指標名	借地施設数			借地件数			借地料総額			D
				指標の算式等	-			-			-			
				目標(A)	17 施設	17 施設	15 施設	133 筆	133 筆	115 筆	20,037,000円	19,953,000円	15,781,000円	
				実績(B)	17 施設	17 施設	16 施設	133 筆	133 筆	131 筆	19,823,600円	19,828,000円	19,500,000円	
				(A)と(B)の比較	0 施設	0 施設	1 施設	0 筆	0 筆	16 筆	213,400円	125,000円	3,719,000円	
4	歴史民族施設等の整理合理化 (文化振興室)	27-3	市内には博物館が4館・資料館等が11館点在し、各館の展示内容も類似のものが多く、特徴に欠けているのが現状です。本年度は各館の今後について、鉱山関係や美術工芸関係など特徴のあるテーマ館への転換など、施設の方向性を示しながら、整理統合の検討を進めてまいります。	指標名	整理統合による施設総数			施設総数			-			C
				指標の算式等	-			-			-			
				目標(A)	-	-	14 施設	-	15 施設	15 施設	-	-	-	
				実績(B)	-	-	14 施設	-	15 施設	14 施設	-	-	-	
				(A)と(B)の比較	-	-	0 施設	-	0 施設	▲1 施設	-	-	-	

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取り組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか。また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	D	説明会は十分に行なった。市民からの質問対応の体制はまだ確立されていない。(学校教育課) 市民への説明を行っていない施設があるので、早急に関係団体への説明を行いたい。(生涯学習課) 整理統合については、佐渡市博物館協議会や課内での検討が中心であり、市民からの質問に対応する体制は整えていなかった。今後は、関係機関(議会)・住民等への周知を行いながら進めていきたい。(文化振興室)
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	D	兼務の中で進められたので非常にきついものであった。(学校教育課) 施設を管理する教育事務所との連携を図り進めていきたい。(生涯学習課) 佐渡市博物館協議会も課内での検討体制も現状に基づいて行ったが、広範囲の意見を徴するという部分では課題が残った。今後は、協議会以外の関係者(機関)とも調整を図りながら進めたい。(文化振興室)
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	C	事業の重要性や取り組みへの協力がなされた。(学校教育課) 不十分であったので今後努力したい。(生涯学習課) 検討に向けた動きが年度後半からのスタートになってしまった。今後も継続しながら21年度での更なる取り組みを進めたい。(文化振興室)
	所管職員が佐渡市行政改革マニフェストの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	C	精力的に取り組んだ。(学校教育課) マニフェストの趣旨と内容の理解はしていたが、取組みがなされていなかった施設があったので、今後精力的に取り組む。 (生涯学習課) 佐渡市として適正な施設数と予算規模の確立を目指し、共通の認識の下に取り組んだ。(文化振興室)
	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	D	十分とはいえないまでも、調整を図りつつ進めてきた。(学校教育課) 不十分であったので今後努力したい。(生涯学習課) 課内での検討が中心となり、関係機関との調整が少なかった。今後は生涯学習・観光等部内外の関係機関とも調整を図りながら進めたい。(文化振興室)

平成20年度 教育委員会 改革マニフェスト 自己検証シート

取組み後の対応	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	C	統合することによる教育環境の充実や財政的効果について検討している。(学校教育課) 借地施設数、借地筆数、借地料総額の把握はしている。(生涯学習課) 博物館・資料館の将来像(適正な人員配置・予算規模)を意識しながら行った。(文化振興室)
	目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。	C	目標を達成することが出来た。(学校教育課) 目標数値の捉え方(品目ベース)に問題があり、平成20年度の調査は重量ベースとした。(学校教育課・学校給食) 代替となり得る市有施設を検討中である。(生涯学習課) 博物館・資料館の統合に向けた今後の年次計画を検討した。(文化振興室)
	実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。	D	事業が一段落した時点で説明会を開催してきた。(学校教育課) 保護者には学校給食運営委員会を通じて、また児童生徒には栄養士による食育を通じて地産地消について説明している。(学校教育課・学校給食) 行程や代替施設等について、関係機関等への説明を行った。(生涯学習課) 市民への周知については、特に行わなかった。今後は市民への周知を図りながら調整を進めたい。(文化振興室)
	取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。	C	課題の洗い出しを行い、それについての共通認識をもって解決への話し合いを行ってきた。(学校教育課) 学校給食における食材の地産率を上げるには、生産者や市場との連携を図る必要があり、平成21年度より産業観光部農業振興課内に地産地消係を設けた。(学校教育課・学校給食) 既存施設と代替施設との差異について検討した。(生涯学習課) 課内での議論を重ねながら、整理統合に向けて検討した。(文化振興室)
	実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。	D	確立はしていないが姿勢として努めてきた。(学校教育課) 栄養士による食育を通じて、児童生徒、保護者に説明した。(学校教育課・学校給食) 行程や代替施設等について、関係機関等への説明を行った。(生涯学習課) 整理統合については、佐渡市博物館協議会や課内での検討が中心であり、市民からの質問に対応する体制は整えていなかった。今後は「開かれた行政」を意識しながら進めたい。(文化振興室)

3) 総評

今年度の取組みに対する部局長のコメント	
<p>学校統合においては、地域住民や保護者と何度も話し合い、課題・問題点を鮮明化し、解決に取り組んだことによる結果と認識している。また、学校給食における佐渡産食材の地産地消率の上昇は、当該課だけの努力で進められるものではないので、関係課や関係機関と連携しながら進めてきた。関係課でも前処理システムの導入の検討などその取り組みは行われてきている。地元産の生産力アップや良質な作物出荷というシステム作りも切望されている。(学校教育課)</p> <p>59施設が各地区に点在し老朽化等がすすむ中で、今後のスポーツ施設整備計画や財政的な観点から計画的に見直しを進めことが急務であるが開かず中間とは言え実績がでなかったことは猛省すべきことであります。計画そのものが見直しが必要であります。今年度中に、スポーツ振興審議会へ社会体育施設の見直しについて諮問し、平成21年度中には答申をいただき、施設の施設の整理合理化を進め、経費の削減を図ります。(生涯学習課)</p> <p>今年度からの目標テーマであり取り組みの遅さが成果1件の結果となっている。(文化振興室)</p>	
<p><b>【良かった点】</b> 説明会の開催により、保護者や地域の皆さんに学校統合計画の趣旨がある程度理解されたこと。給食業務としては、全市的に地産地消拡大に取り組まれるようになったこと。(学校教育課) 羽茂プールについて、年度内に解体工事が完了し、地権者に土地の返還ができた。(生涯学習課) 佐渡市の博物館・資料館の将来展望を部内で検討することにより、担当職員の共通認識をもつことができた。(文化振興室)</p>	
<p><b>【悪かった点】</b> 人的体制ができておらず、業務の集中度が浅くなりがちであった。(学校教育課) 赤泊総合グラウンドについて、利用団体との協議が出来ずに今に至った。(生涯学習課) 検討に至るまでのスタートが遅れ、年度後半からの動きとなってしまった。また、検討結果(経過)について、市民に対する周知等の動きがなかった。(文化振興室)</p>	